

平成19年10月17日

各位

会社名 株式会社 三ッ星
 代表者名 代表取締役社長 塚本 洋一
 (JASDAQ・コード5820)
 問合せ先 執行役員経理部長 塚本 一男
 TEL 06-6762-6939

平成20年3月期中間期(連結・個別)及び
 通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年7月24日付当社「平成20年3月期中間期(連結・個別)及び通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

[] 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,265	196	205	103
今回修正予想(B)	6,121	155	163	74
増減額(B-A)	144	41	42	29
増減率(%)	2.3	20.9	20.5	28.2
前中間期実績 (平成19年3月期中間)	5,968	212	231	147

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,449	363	371	184
今回修正予想(B)	12,366	226	232	93
増減額(B-A)	83	137	139	91
増減率(%)	0.7	37.7	37.5	49.5
前期実績 (平成19年3月期)	12,118	354	381	151

[] 個別業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,730	124	130	68
今回修正予想(B)	5,552	96	100	49
増減額(B-A)	178	28	30	19
増減率(%)	3.1	22.6	23.1	27.9
前中間期実績 (平成19年3月期中間)	5,548	192	208	142

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,441	271	274	145
今回修正予想(B)	11,442	217	218	111
増減額(B-A)	1	54	56	34
増減率(%)	0.0	19.9	20.4	23.4
前期実績 (平成19年3月期)	11,269	300	320	140

[] 業績予想の修正理由（連結・個別）

平成20年3月期の業績につきましては、平成19年7月24日に公表いたしました予想を修正いたします。中間期（平成19年4月～平成19年9月）は前回発表予想を下回り、連結売上高6,121百万円、連結営業利益155百万円、連結経常利益163百万円、連結中間純利益74百万円と見込み、通期（平成19年4月～平成20年3月）も前回発表予想を下回り、連結売上高12,366百万円、連結営業利益226百万円、連結経常利益232百万円、連結当期純利益93百万円と見込んでおります。

業績修正の主な理由は、次の通りです。

第2四半期の電線事業は、銅価格が予想を上回る高値圏で推移したため、顧客の買い控え意識が強まり受注量は伸び悩みましたが、販売価格の適正維持に努めた結果、売上高はほぼ計画通りとなり、前年実績を上回る結果となりました。

ポリマテック事業においては、関係の深い住宅着工戸数が改正建築基準法の施行により、7月、8月に大きく減少しました。主要顧客の多くが住宅関連企業であることから、この影響を受け受注量が減少し、売上高は前年実績を下回りました。

また、中間期においては、銅価格をはじめ石油化学製品などの原材料が値上がりしたことに加え、受注量の減少にともなう生産量の減少が、単位当たりの原価を押し上げ、利益を圧迫する結果となりました。通期においては、高騰した原材料価格を販売価格に転嫁することが困難な見通しであるため、中間期、通期において、連結の売上高、利益とも前回業績予想を下回る見通しとなり修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

以上